

## 第6章 西武狭山線・西武多摩湖線

### 第1節 概要

2022年12月26日（月）快晴、西所沢駅から萩山駅を経由して国分寺駅までの営業キロ16.2kmに挑戦する。すなわち、狭山線（西所沢～西武球場前：営業キロ4.2km）、山口線（西武球場前～多摩湖：2.8km）、多摩湖線（多摩湖～萩山～国分寺：9.2km）の踏破である。改めて、西武鉄道の網の目のような路線にビックリ。



#### ※西所沢駅

西武鉄道は、2004年6月21日（月）、当初予定は拝島線（小平～拝島：営業キロ14.3km）であったが、玉川上水駅界限で大雨に遭遇したので、急遽拝島駅から玉川上水駅までの営業キロ7.1kmで中止とした苦い体験がる。それ以来、池袋線や新宿線などを踏破してきた。PDF

PDF 読本執筆に当たり、2020年8月から始めた首都圏鉄道の整理の中で、西武鉄道の国分寺線、狭山線、山口線、多摩湖線、そして豊島線に関し、未着手であると判明。それ故、先日の12月20日（火）に引き続き、今回の歩き鉄旅となった。これで総営業キロ176.6kmにある西武鉄道の全駅舎立ち寄りを達成する。ただし、豊島園の閉鎖もあり、豊島線（練馬～豊島園：1.0km）については、歩き鉄を割愛し、乗り鉄で対応することとした。

本日の歩きは、想定外の西武園駅や小平駅に立ち寄る場面にも遭遇したが、また、武蔵大和駅から八坂駅までの区間で大回りする場面にも遭遇したが、地元の人の親切なご支援を頂き、西所沢駅から国分寺駅までにある全ての駅舎に立ち寄りに成功する。

感謝の気持ちで一杯となる。同時に全駅舎立ち寄りの醍醐味と奥深さなどを痛感する。これで通算営業キロは、1万4千69km（活動日数691日、日本鉄道の50.8%、地球円周の35.1%）となる。

## 第2節 西武狭山線・多摩湖線（西所沢～西武球場前～国分寺）

※上記路線中、西武所沢～西武球場前は西武狭山線の範疇。西武球場～多摩湖までの西武山口線は多摩湖線に含めた。

各駅舎立ち寄り時刻は次の通り。

西所沢（9：06）～下山口（9：45）～西武球場前（10：26）～西武園ゆうえんち（11：35）～多摩湖（12：25）～武蔵大和（12：48）～八坂（13：50）～萩山（14：09）～青梅街道（15：00）～一橋学園（15：13）～国分寺（15：58）

①師走の風情を堪能しながら下山口駅を目指す。踏切を渡るや否や、遙か遠くに西武園遊園地の観覧車が目に入る。9時11分、池袋線の踏切を横切る。9時21分、岩崎交差点を通過。その界隈に瑞巖寺（曹洞宗）があった。この寺で本日の安全を祈願する。9時30分、狭山線下を潜り、ネットで調べた道筋を淡々と歩いた先に下山口駅（9時45分）があった。10時5分、柳瀬川（高橋）を渡る。間もなく歩くと西武球場が見えて来る。小高い山の向側にあった。西武球場前駅には10時26分到着。駅前はずいぶんオフでもありひっそりしていた。



※西所沢駅、池袋線踏切



※岩崎交差点、狭山線下潜る



※下山口駅



※西武球場前駅への路



※西武球場前駅



※西武球場、狭山不動寺

②西武球場の界限には狭山不動寺があった。この界限でネットで打ち出した地図の解釈を誤ってとんでもない方向に進行しようとしていた。しかし、運よく地元の人に対面することができ、正しい道筋を歩くことができる。幹線道路から螺旋陸橋を経て西武ドーム裏を歩くような道筋であった。多摩湖に沿って遊歩道・幹線道路は続いていた。冬休みのシーズンでもあり、ジョギングや自転車などを楽しむ人と多数対面する。爽快な気分で歩く。途中、特殊なレールをもつ山口線の車両と11時12分（西武球場前方面）と11時22分（多摩湖方面）対面する。西武園ゆうえんち駅には11時35分到着。坂を下って、鉄道を跨いだ先にあった。駅前には、西武鉄道の車両が展示されていた。係員の方に駅前を背景に記念写真を撮って頂く。



※遊歩道への路、遊歩道



※西武球場前駅行き、多摩湖駅行き



※西武園ゆうえんち駅



※西武園ゆうえんち駅前の車両

③坂道を上り、鉄道の右側に出る。西武園ゆうえんちの観覧車などを眺めながら歩く。誤って西武園線の西武園駅北口（12時4分）までやって来る。しかし、誤った方向に進んでいることが認識できていない。12時13分、西武園駅南口前で地元の人に「多摩湖駅への道筋」をお伺いしたお陰で自分が誤った方向に進行していることに気づく。「西武園駅は新設駅かな」と錯覚していた。それにしても、1 km位の区間に異なる沿線の駅があるのでビックリした。しかも離散型で。教えてもらった道筋を淡々と歩いた先に多摩湖駅（12時25分）があった。リカバリーに10分程度要した。後編（多摩湖線）に続く！！



※観覧車などを見ながら歩く



※誤って西武駅へ



※多摩湖駅

④12時27分、多摩湖線下を潜り鉄道の右側となる。その先に都立狭山公園があった。公園内を經由し、12時36分、多摩湖線下を潜り、鉄道の左側となる。12時43分、東村山市立回田小学校前を通過。幹線道路から10m位上がった先に武蔵大和駅（12時48分）があった。丁度、八坂方面に向かう電車がやってくる。



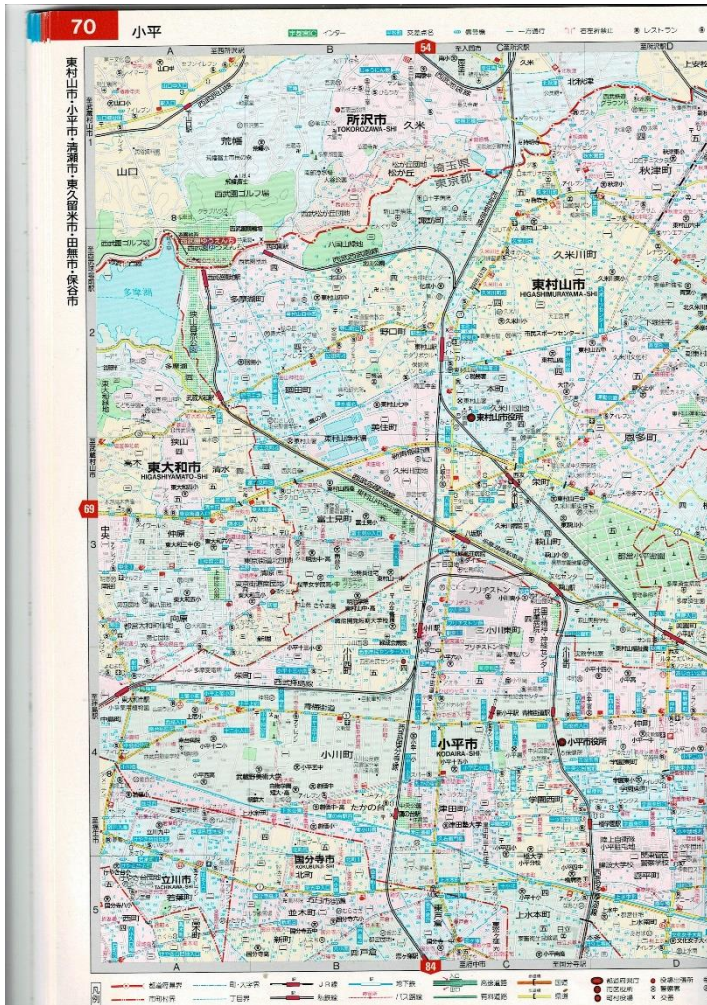
※狭山公園、武蔵大和駅



※武蔵大和駅

⑤八坂駅への道筋は大回りの道筋となる。大きな理由は、先日の歩きを通じ、武蔵大和～八坂の区間は易しいと思い込んでいたからである。それ故、地図を全く見ず、淡々と道路を歩き続けた。鉄道と道路が並走していない関係から、新青梅街道交差点到着した頃には50m位の乖離が1km位に拡大していた。地元の人にお伺いするが、解釈を誤って突き進んだ。13時1分、44歩ある清水大橋（空堀川）を渡る。橋に東村山市の花（つつじ）、木（けやき）が記されていた。途中、多摩湖線の電車を見かけるが、新青梅街道を突き進む。そのうちに、国分寺線下を潜り、13時37分、府中街道の交差点に合流する。間もなく歩くと先日歩いた野口橋や八坂小学校などが登場する。府中街道に面した八坂駅には13時50分到着。2.5kmの営業キロに62分も要する。すなわち、30分位大回りとなる。





※多摩湖線下を潜る、清水大橋、新青梅街道をひたすら歩く



※八坂小学校、八坂駅

⑥八坂駅から萩山駅への道筋は、鉄道に沿った一本路であった。13時59分、萩山公園があった。拝島線と合流する萩山駅には14時9分到着。

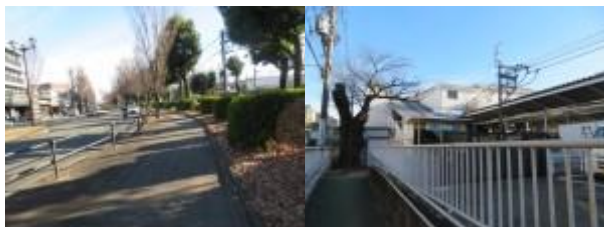


※萩山駅、萩山公園、萩山駅への路



※萩山駅

⑦青梅街道駅への道筋も青梅街道に沿った一本路であったが、地図の解釈を誤り小平駅（14時30分）までやってくる。用心に用心した注意が空砲となる。リカバリーに何人もの地元の人に聞きながら、やっと青梅街道駅に15時到着できる。1.2kmの営業キロに51分も要する。



※誤って小平駅へ



※萩山駅



※やっと青梅街道駅に到着

⑧一橋学園駅への道筋は、鉄道に沿った青梅街道を淡々と歩いた先にあった。一橋学園駅には15時13分到着。そして、鉄道に沿った青梅街道を歩く。まもなく歩くと前方左側に国分寺駅前の高層ビルが見えて来る、15時43分、多摩湖線の踏切を横切り、鉄道の左側を歩いた先に国分寺駅（15時58分）があった。16.2kmの営業キロに6時間50分も要したが、面白いコースであった。これで、近々拝島線、新宿線、多摩川線を乗り鉄にて対応すれば、待望の第42編（西武鉄道）のPDF読本が執筆できる見込みとなった。何とか頑張って年末までに対応したいものだ。



※一橋学園駅への路



※一橋学園駅



※遠くに国分寺駅



※国分寺駅